

製品名: UBE2C マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81382**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 19.7kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | UBE2C |
| 別名 | UBCH10; dJ447F3.2 |
| 遺伝子 ID | 11065.0 |
| SwissProt ID | O00762 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト UBE2C (AA: FULL (1-179)) の精製組換え断片。 |

背景

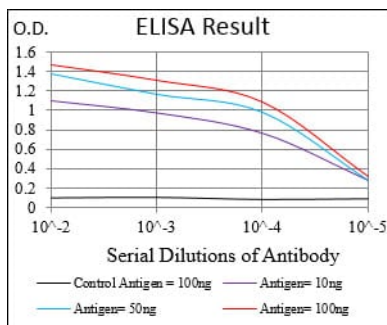
ユビキチンによるタンパク質の修飾は、異常なタンパク質や短寿命タンパク質を分解対象とする重要な細胞機構です。ユビキチン化には、少なくとも3種類の酵素、すなわちユビキチン活性化酵素、ユビキチン結合酵素、およびユビキチンタンパク質リガーゼが関

与します。この遺伝子は、E2 ユビキチン結合酵素ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、有糸分裂サイクリンの破壊と細胞周期の進行に必要であり、癌の進行にも関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。この遺伝子の擬遺伝子は、4 番染色体、14 番染色体、15 番染色体、18 番染色体、および 19 番染色体上に同定されています。

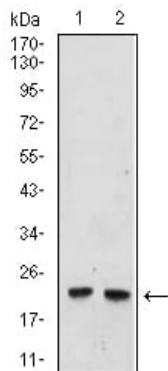
研究分野

-

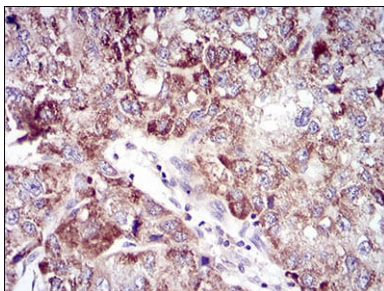
画像データ



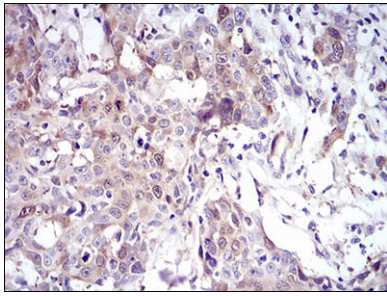
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1) および Raji (2) 細胞溶解物に対する UBE2C マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



UBE2C マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。



UBE2C マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。